

科目ナンバー	TCP-3-017-j			科目名	教育実習・初等		
教員名	佐藤 高司、岸 一弘、本多 正直、平岡 さつき、清水 弘己、青木 博			開講年度学期	2020年度 前期～後期	単位数	4
概要	小学校教員免許を取得するために、小学校(実習校)での授業実践や生徒指導・児童理解などを通して、小学校教育現場を体験する(学ぶ)ものです。また、大学の授業などを通して修得した教育理論や教育方法の原理・原則を小学校教育現場に適用するとともに、自分の実践やその場では判断・理解がうまくいかなかった事象を省察し、理論のとらえ直しをするものです。						
到達目標	1.小学校教育の実践について体験的、総合的な認識を得ること。 2.大学において修得した教科や教職の専門的知識などを児童の成長発達の促進に適用する実践的能力の形成として応用できること。 3.教育実践に関する問題意識や創意工夫に必要な研究的な態度と能力の基礎を形成すること。 4.教育者としての愛情と使命感を深め、教員としての能力や適性について自覚を得ること。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識		自己を理解する力	○	伝え合う力		分析し、思考する力	
共生のための態度	○	自己を抑制する力	○	協働する力		構想し、実行する力	
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力	○	実践的スキル	○
教授法及び課題のフィードバック方法	<教授法> 教育実習校での指導のもと、教育実習を行います。大学の担当教員が実習校を訪問して助言します。 <フィードバック方法> 大学教員と連携し教育実習校の指導教員が、実習時に随時指導します。また、大学の担当教員が、訪問時に面接指導を行い、必要に応じてメール等で指導します。						
アクティブラーニング		○	サービスラーニング			課題解決型学修	
受講条件 前提科目	本学の教育実習取扱規則に定める条件を満たしている者が受講対象です。 教育実習は単なる体験ではなく、座学と対になっています。座学に相当するものは、教職に関する知識・理論の学習や技術の学習など大学における講義などです。教育に携わる当事者意識を持って教育実習を行ってください。教えられる立場から教える立場への転換であることを自覚し、意欲を持って臨んでください。						
アセスメントポリシー及び評価方法	<アセスメントポリシー> 実習校側からの評価は「共生のための態度」「主体性」「関係を構築する力」「実践的スキル」について、実習日誌・教育実習レポートの評価は「自己を理解する力」「自己を抑制する力」について、総合的に行います。 <評価方法> 実習校側からの評価(50%)、実習日誌・教育実習レポート(50%)を総合的に評価します。なお、「教育実習事前事後指導(初等)」との継続性・関係性があります。実習期間中の欠勤は認められません。(体調管理には十分気をつけましょう。)						
教材	特に教材はありません。						
参考図書	必要に応じて紹介していきます。						
内容・スケジュール	教育実習は3年次の前期または後期、実習校が指定した期間(原則4週間または20日以上)に行います。						

Number	TCP-3-017-j		Subject	Student Teaching at Primary School		
Name	佐藤 高司(Sato Takashi)、岸 一弘(Kishi Kazuhiro)、本多 正直(Honda Masanao)、平岡 さつき(Hiraoka Satsuki)、清水 弘己(Shimizu Hiromi)、青木 博(Aoki Hiroshi)		Year and Semester		Credits	4
Course outline	We will learn elementary school education through practical lessons, guidance of students, understanding children. I will try to practice the educational theory and educational method learned in the university lesson at elementary school education site. Also, through revealing your own prac					

tice, judgment, understanding failure, I will re-understand the theory.